

機械器具11 放射線障害防護用器具

一般医療機器 一般的名称：放射線防護用前掛JMDNコード：38355000

販売名：インファブ プレミアムX線防護衣

【禁忌・禁止】

使用方法

防護具に損傷の認められたものは使用しないこと。

[正常なX線遮蔽性能が保たれていない可能性がある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本製品は診断や治療のための医科及び歯科処置において不必要な放射線被爆から患者、術者又はその他医療従事者の胸部、腰部及び背部など人体の一部を保護するために使用する個人用の防護衣類である。

頸部、甲状腺及び頭部を保護するための防護衣を併用することもあり、また脱着式の袖を使用することもある。鉛あるいは鉛と同様のシート状材料とこれを覆う薄い1枚の耐液体性の外部カバーで構成される。前部はこの外部カバーを重ね合わせて使用する場合とそうでない場合がある。



(3)ベストアンドスカート

(1)コートタイプ



(4)サージェリー・ドロップアウェイ タイプ

(2)エブロンタイプ



取扱説明書を必ずご参照ください。

2. 原理

一般に医療用X線は生体に当たり減衰(透過されずに吸収)される。照射に関わる治療及び検査時に術者等、患者、医療従事者の体内へ直接吸収されることの無いように減衰させる目的の防護衣である。

防護素材は鉛、あるいはこれと同様の材料をシート状に加工し、外部カバーによってこのシートを覆う。外部カバーは耐液体性である。

【使用目的又は効果】

本製品は診断や治療のための医科及び歯科処置において不必要な放射線被曝から患者、術者又はその他医療従事者の胸部、腰部及び背部など人体の一部を保護するために使用する個人用の防護衣類である。

【使用方法等】

使用前:

1. 着用前に目視及び触覚により外部カバーの破れ、孔及び防護材のひび割れがないことを確認する。
2. 本品の着用は使用者の体格に適合するかを確認し、適切なサイズの防護衣を使用すること。

使用中:

1. 取扱説明書を参考に正しく使用すること。
2. 着脱時に手荒く扱わないように注意して取り扱うこと。

使用后:

1. 必要であれば、アルコールで外部カバーに付着した血液や薬液を清拭しその後専用のラックに掛け、防護衣自体を伸ばした状態で保管すること。

【使用上の注意】

1. 経年劣化により防護材が脱落あるいはひび割れの恐れがあるため衝突、転倒による衝撃が加わった場合は直ちに点検すること。
2. もし使用中に異常を感じた場合は使用を止め、他の防護衣に替えて使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- (1) 保管にあたっては、必要な清掃を行った後、高温多湿の場所を避けて保管すること。専用のラックに掛けて保存すること。
- (2) 不適切な折り畳み、不注意な積み重ねはしないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織等の汚物を除去し、感染防止のために清掃・消毒すること。
2. 安全のため、X線透過率や防護材料の破損等の透視検査は6カ月毎に定期検査を行うこと。鋭利な器具等で防護材を穿孔した形跡がないか確認すること。
3. 汚れ等は水と中性石鹼でふき取り、イソプロピルアルコールで消毒すること。
4. 洗濯及び乾燥は行わないこと。
5. オートクレーブでの滅菌は行わないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売業者】

名称: 株式会社キースマック

電話番号: 03-3292-2506

【製造業者】

名称: Infab Corporation

(インファブ コーポレーション)

国 名: 米国

ご使用に際し、ご不明な点などありましたら、販売元までお問い合わせください。

取扱説明書を必ずご参照ください。